

# 東大阪商工月報

2009  
**8**  
 No.697



■ 産業天気図  
 ■ 商工会議所ナビ

石切録石神社 第二代会長  
 第五十六代神主

景況底打ちか？見通しも回復の兆し  
 受注拡大や販路開拓の取組み



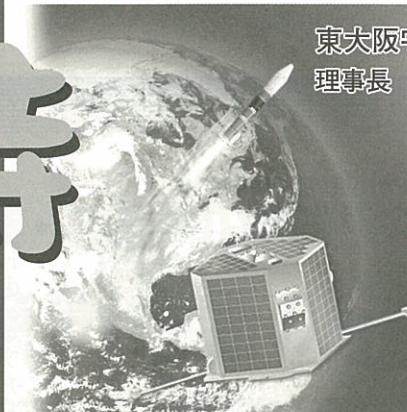


# 日時

を

読む

「本命ミッションは人づくり」  
やりました夢の実現人工衛星まいど1号!



## プロフィール

昭和56年	(株)大日電子創立	取締役就任 (有線・無線電気通信機器の設計開発)
平成5年	(株)大日電子	常務取締役就任
平成10年	(株)大日電子	代表取締役就任
平成21年5月	東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)	理事長就任

### <はじめに>

町工場の夢「まいど1号」の成功を多くの方々との喜びの共感ができました。この成功に至るまでに多方面の方々のご支援、ご協力、励ましを頂いたお陰だと打上げから半年も経た今も熱い思いでいます。改めて皆様にお礼申し上げます。

### <まいど1号ものづくり>

東大阪は歯ブラシからロケット部品まで何でもできる素晴らしい技術を保有している零細工場が多数集っています。不況脱却に衛星でも上げよかと軽いりから始まったこの企画です。

人工衛星の知識も無いし、まして製造なんて雲をつかむような話でした。衛星作りのプロJAXAにご指導をお願いしました。筐体の設計は零細企業では日々の仕事をこなすのが精一杯なので大学に依頼しました。企業は納期遅れは許されないし、商品として完璧さを求めるというベースがありますので、限られた期間に仕上げるよう組合は工程管理をしました。

大学は研究開発を得意とするところ、官は民より人材もお金もあります。この産学官のそれぞれの特徴を活用してこのプロジェクトが運営されました。文化の違い、考え方の違いのある三者に多くの苦難が発生しましたが、目標は一つ「衛星を絶対上げるんだ!」に向かってまともな協力が成功した要因のようです。良い前例になるのではないかと思います。

お互いに保有している技術を連携して製品にすることはこれからの企業にとって大切なことです。今まで衛星の部品は特別な技術が必要とされるのかと思っていたが、経験者から衛星のこと、宇宙

環境のことを教わり、勉強を重ねるうち、我々企業が地上で作っているものに少し手を加えることで充分使えるということが分かりました。組合の企業もそれなりの歴史があり、ものづくりの技術は素晴らしいものです。経験が無いので、広がりはありませんでしたが、今回の衛星作りで自信を持って技術力をアピールできると確信しました。

今後の開発では、衛星そのものになるか部品になるかは状況次第ですが、「まいど1号」に続く宇宙関連ビジネスとして東大阪の活性化に役立てたいと思います。

### <本命ミッションは人づくり>

まいど1号の成功により開発参加企業はテレビ、新聞等に取り上げられる機会が多くなり社会から注目される企業になりました。プロジェクトに参加した、学生や企業の若い人達にも日が当たり、家族や友達からも「凄いことやったね」とほめられ、それが励みとなって、誇りを持てるようになり、モチベーションが確実に上がったと感じています。

まいど1号にはたくさんのミッションがありますが、「人づくり」というミッションもあったのだと成功した今だから思えることです。

### <今後の活動>

今後の活動として、まいど1号の運用継続、そして衛星開発で培ったノウハウを生かして宇宙関連の部品製造販売事業に展開していくつもりです。組合メンバーも、宇宙を目指す志の有る方にまで範囲を広げて現在の6社から50社に拡大したいと考えています。今後ともご支援よろしくお願い致します。